

5/17
(月)

テークアウト情報誌を発行 飲食店の支えになれば

5月17日、商工会女性部でテークアウト情報誌作成の協議会が開かれました。

これは、新型コロナウイルスの影響を受けて、町内の飲食店を支援するために始められました。

この日は、情報誌に掲載する弁当や総菜の写真撮影と、女性部役員による情報誌検討会が行われました。

会長の坂口のみさん(山中)は「まだ分からないことが多いが、町内の飲食

店を支えるため大きな効果を期待したい」と話しました。

情報誌は今後も協議を進めながら、発行される予定です。



協議会に参加した役員ら

5/25
(火)

城川内海岸で磯遊び 自然に触れて学ぼう

5月25日、城川内小学校(海江田徹男校長・82人)で磯遊びが行われました。

これは自然と触れ合うことを目的に行われていて、城川内海岸には全校児童のほか、保護者や、城小っ子支援隊、教職員ら約100人が参加しました。

水の中や石の裏、岩の間など思い思いの場所を調べて、生物を見つけました。

6年生の小寄一希くんは、「去年はコロナの影響で中止だったので、うれしかった。たくさんの生物を見つきたい」と笑顔で話しました。

多くの児童がさまざまな生物を見つけ、満足そうな様子でした。



思い思いの場所を調べる児童ら

5/26
(水)

蔵之元小学校カヌー教室 夏に向かって漕ぎ出せ

蔵之元小学校(古川進校長・55人)では毎年5月に、蔵之元港で4年生から6年生を対象にカヌー教室を実施しています。

5月26日のカヌー教室は、準備体操を終えた児童らがカヌーに乗り込み、続々と沖へ向かって、出艇しました。

はじめは思うように漕げなかった児童らも、次第に上達し、自在にカヌーを漕げるようになっていきました。後半には沖から誰が1番早く戻ってこれるか競い合い、カヌー長島海峡横断大会に負けない

くらいの熱量の迫力を見せました。

6年生の田邊幸之助くんは「遠くまで漕ぐ目標を立てて、活動することができてよかった」と充実した様子でした。



カヌーを楽しむ児童ら